

11月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年12月20日

- 調査対象店舗 : 21社41店舗(外国人観光客誘致部会委員店)
- 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれません。

1.免税手続きベースの売上および対前年比

- ◆ 売上高総額(41店舗) …… 14億7,756万円余(1店舗平均:約3,604万円)
- ◆ 売上高前年比(41店舗) …… 97.5%(店舗数調整後)

2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

- ◆ 購買客数合計(41店舗) …… 21,268人(1店舗平均:519人)
- ◆ 購買客数前年比(41店舗) …… 92.1%(店舗数調整後)

3.免税手続き一人当たりの購買単価

- ◆ 一人当たりの購買単価(41店舗) ……69,473円
- ◆ 一人当たりの購買単価前年比(41店舗) ……105.8%(店舗数調整後)

4.外国人観光客に人気のあった商品

- 第1位 婦人服 (コート、セーター、帽子、バーバリーブルーレーベル)
- 第2位 婦人服飾雑貨 (ブーツ、マフラー、スカーフ、ハンカチ、ストッキング)
- 第3位 紳士服飾雑貨 (コート、スラックス、ジャケット、ネクタイ、ベルト、肌着、ゴルフウェア)
- 第4位 化粧品 (資生堂、SKII、ファンケル、シュウ・ウエムラ)
- 第5位 子供服・雑貨 (サンリオ文具・雑貨、ミキハウス、日本製知育玩具)

- ◆ 10月までは下支えとなっていたハイエンドブランドの売上が大幅に減少した。円高の影響で、日本での買い物に「お得感がない」からだと思う。(札幌)
- ◆ 中国人の方がお一人でエルメスを購入され、99万円程お買い上げになった。(仙台)
人気のあった上位5位の品目は毎月変わらないものの、エルメス、シャネル等の宝飾の売上金額が上位を占めている。(新宿)
- ◆ 婦人服洋品の件数が増えており、その分、購買単価が下がっていると感じる。(新宿、名古屋)
婦人ブーツの購入が多く、纏め買いの傾向も見受けられた。(池袋、福岡)
お土産に、帽子やベルト、手袋等を纏め買いされている方が目立った。(札幌、大阪)
- ◆ 銀聯カードの利用件数は前月と変わらないものの、購入額が減っている。(新宿、大阪)
- ◆ 紳士服飾雑貨の売上が伸長しており、昨今は、ライターやライカのカメラ等の人気が高まっている。(銀座、新宿)
- ◆ 相変わらず化粧品の纏め買いが多いが、資生堂の人気は高い。(札幌、銀座、新宿、名古屋)

5.免税手続きカウンターの来店国別順位

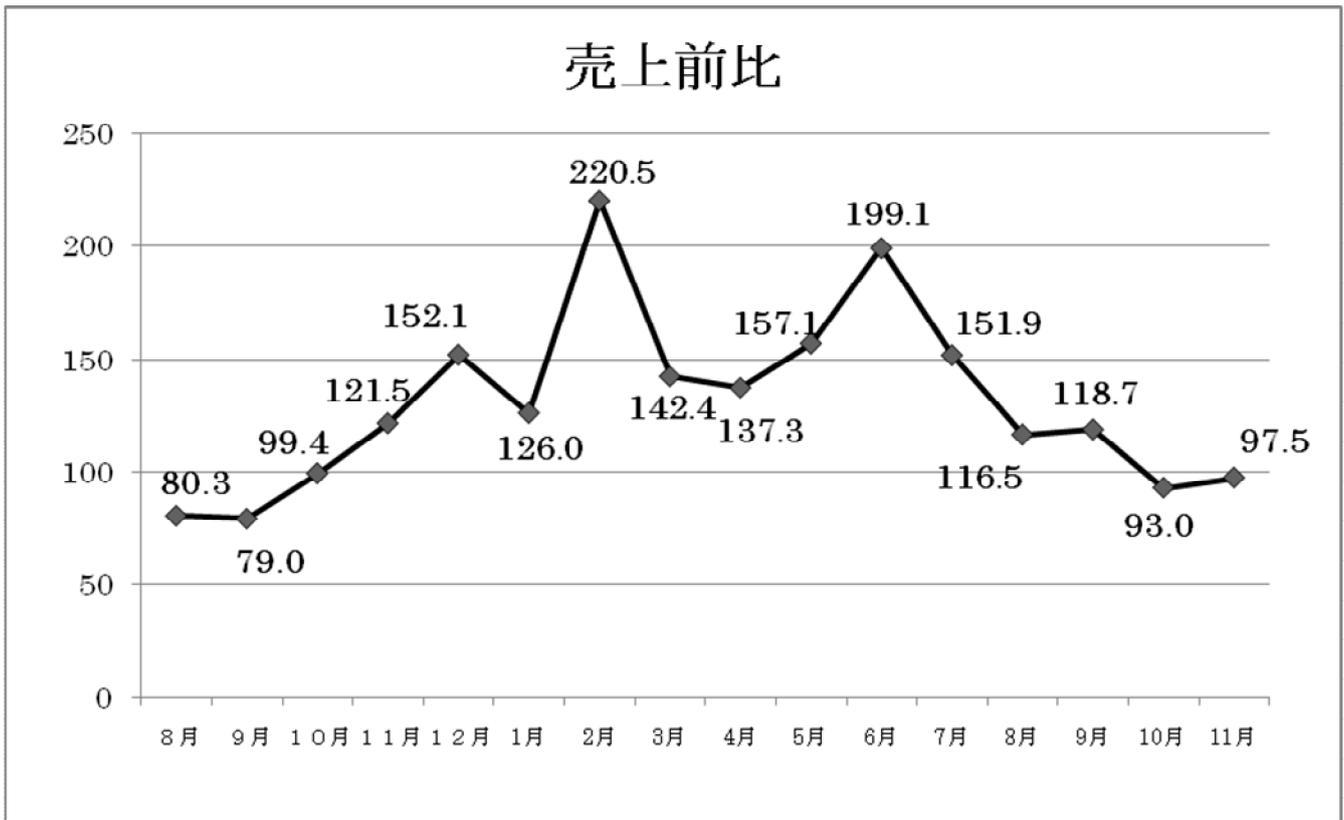
第1位： 中国本土 第2位： 台湾 第3位： 韓国 第4位： シンガポール
第5位： 香港 第6位： マレーシア 第7位： ロシア

6. 今月の概況他

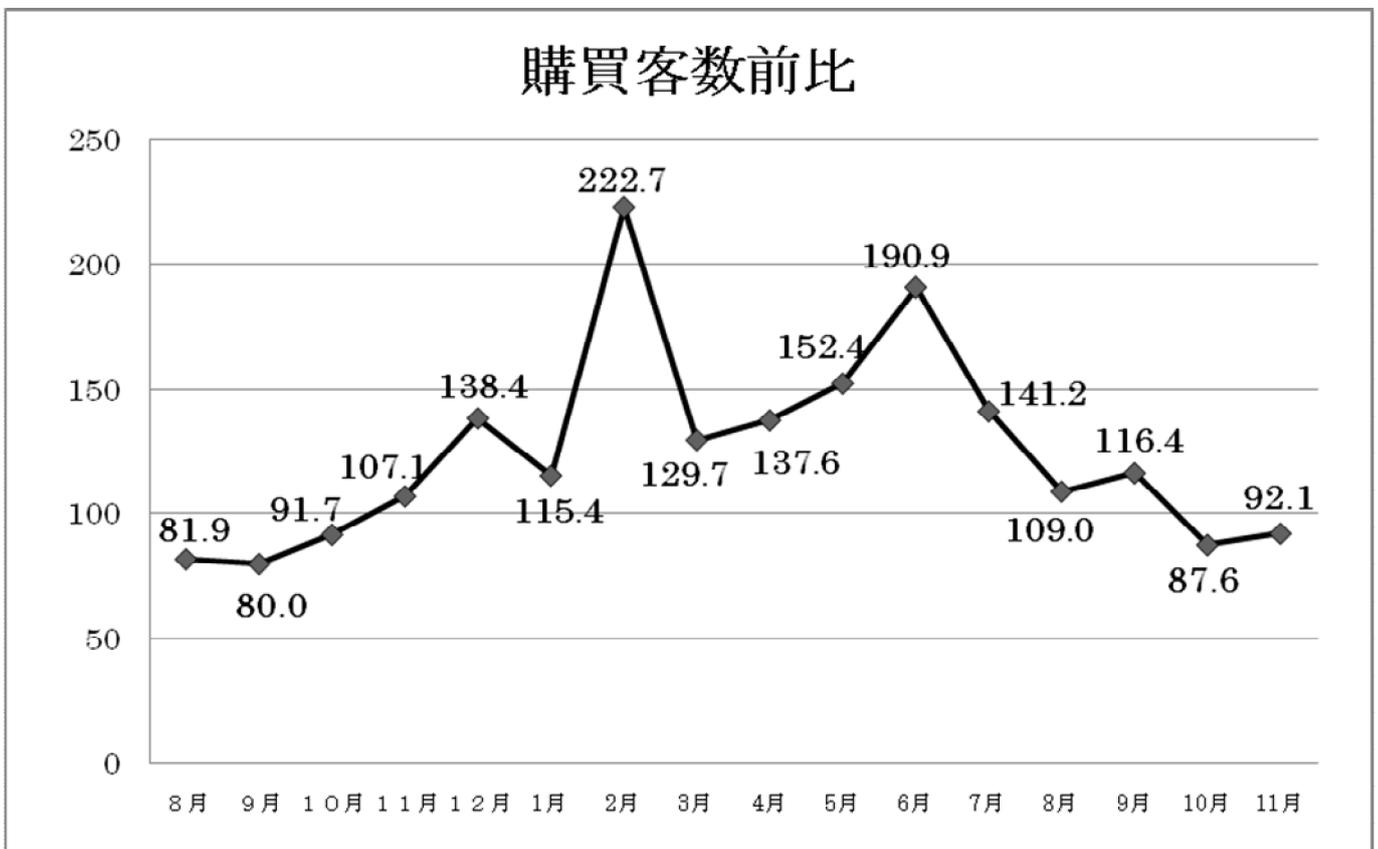
- ◆ 夏場から続く円高の加速等により、売上、客数とも昨年比を下回ったが、先月よりも改善し、41店舗中20店舗がプラスに転じた。
- ◆ 夏場から続く円高の影響により、特に、香港、台湾の来店客数が減少しているが、他方で、シンガポールからの来店客数が大きく伸長しているのも今月の特徴である。更に、下旬は、延坪島事件の影響により、韓国からの来店客数が減少した。

以 上

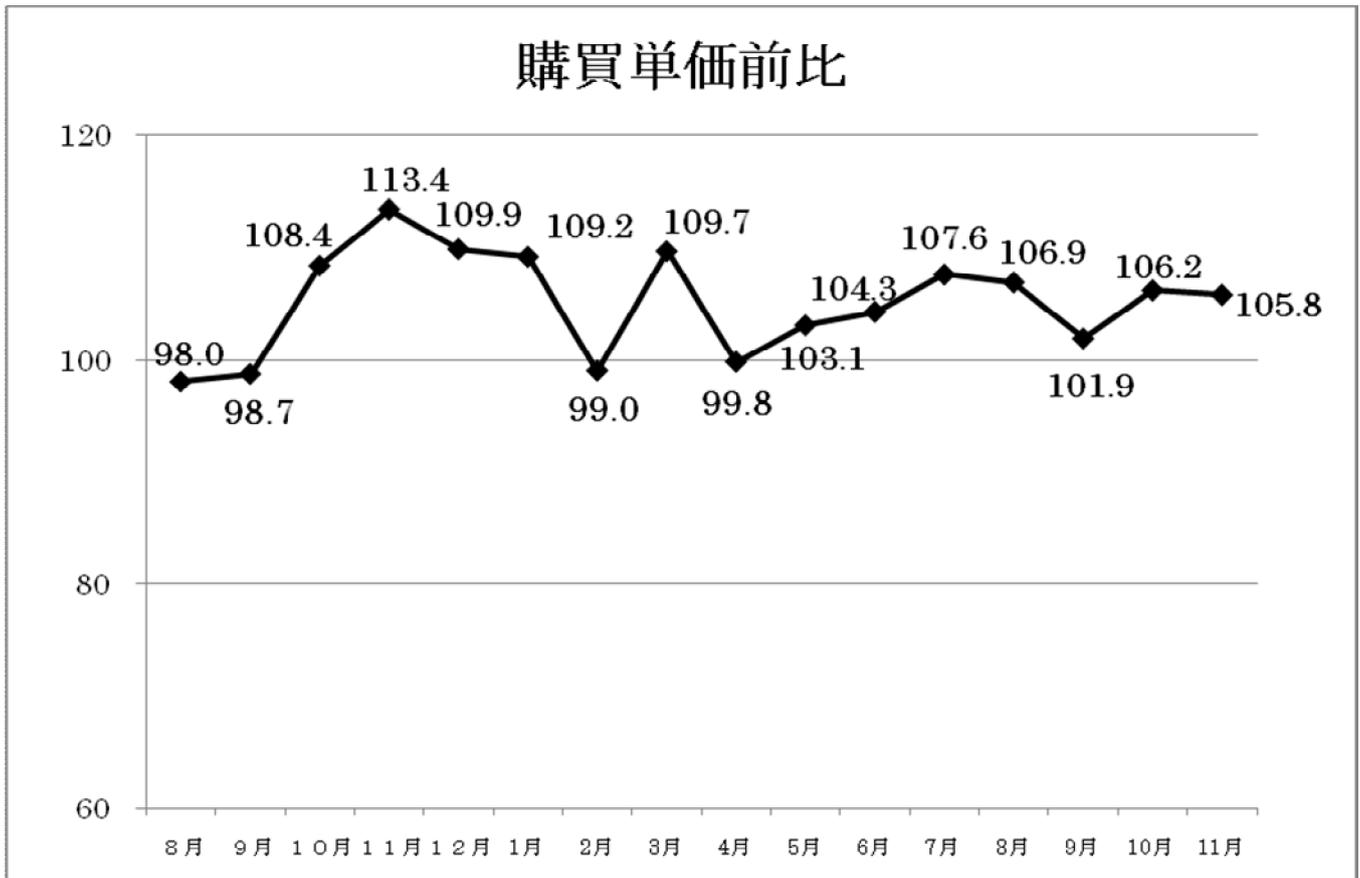
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666